



No.144
2025.8

議会 かわら版

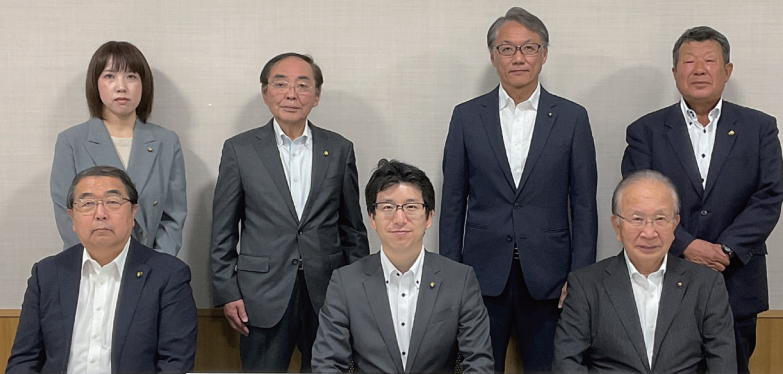
～ gikai newspaper ～



総務常任委員会



民生常任委員会



経済建設常任委員会



議会運営委員会



TOPICS

委員会構成、正副議長あいさつ
一般質問
審議結果、議会傍聴案内など
所管事務調査
議員会研修会、編集後記など

P2
P3 ～ P6
P7 ～ P8
P9
P10

表紙デザイン・タイトルが新しくなります！

投票総数 1,777 票。多くの皆様にご参加いただきました議会だより「愛称選挙」。最多得票数を獲得いたしました『議会議会かわら版』に決定し、今号より、リニューアルとなります。

「市議会だより」カラー版はこちらから ➡





委員会の構成が変わりました！



5月16日に開催されました、第2回臨時会におきまして、21期後半（2年）の委員会構成が決まりました。
また、第2回定例会におきまして、総合戦略特別委員会の名称や目的を変更する決議が可決されました。

総務常任委員会

【委員長】 木村 光宏
【副委員長】 猪口 満雅
【委員】 新井 優也
武田 貞行
峯 泰教
松本 一郎
日向 清一
山田 靖廣

民生常任委員会

【委員長】 大和 勝
【副委員長】 上田 久司
【委員】 坂井 秋子
野尻 清
平野 義文
石黒 武美
河合 清秀

経済建設常任委員会

【委員長】 太田 博之
【副委員長】 枝廣 晴基
【委員】 伊澤 幸信
豊岡 義博
宮下 透
坂井 照美
斉須 正友

議会運営委員会

【委員長】 武田 貞行
【副委員長】 松本 一郎
【委員】 枝廣 晴基
木村 光宏
宮下 透
日向 清一
猪口 満雅
山田 靖廣

新病院建設特別委員会

【委員長】 平野 義文
【副委員長】 河合 清秀
【委員】 枝廣 晴基
木村 光宏
坂井 秋子
宮下 透
石黒 武美
坂井 照美
日向 清一
斉須 正友
上田 久司

総合戦略・定住自立圏 特別委員会

【委員長】 猪口 満雅
【副委員長】 新井 優也
【委員】 伊澤 幸信
武田 貞行
豊岡 義博
野尻 清
太田 博之
松本 一郎
大和 勝
山田 靖廣

令和7年第2回臨時会において、多くの議員の皆様からご推挙をいただき、伝統ある岩見沢市議会の副議長という大役を拝し、誠に光栄に存じますとともに、責任の重さを痛感しております。
副議長の職務を遂行するとともに、議長を補佐し、議会



副議長
豊岡 義博

この度、第37代岩見沢市議会議長に選出賜りました。前期2年に引き続きまして議長のお預かりさせていただきまします。
任期4年の折り返しを迎え残り2年となりました。この2年間は「議員定数等検討委員会」を設置し定数の検討、



議長
峯 泰教

長期的な視点に立った広報広聴の在り方などについて検討いたします。また、当市を中心とした近隣4市5町による「定住自立圏」の問題につきましても各議会の垣根を超えて研修と意見交換などの機会を設けてまいります。
また、引き続き市内中学生を対象に主権者共育に取り組みでまいります。
市民の皆様への負託に少しでもお答え出来まよう「常に変化し続ける議会づくり」に取り組みでまいります。

市民の代弁者として、多様な意見を取り入れ、議論を重ねるとともに、本市議会が市民の皆様からの負託と信頼に応えられるよう努力を傾注してまいります。
今後とも市民の皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。副議長就任のご挨拶とさせていただきます。

正副議長就任あいさつ
（第2回臨時会にて）

※当市議会では、令和7年度より主権者教育を「主権者共育」と表記しています。

一 般 質 問

第2回定例会において、市の施策の状況や方針について、11名の議員が市長、教育長に対して一般質問を行いました。誌面の都合上、要約し掲載します。

6月20日（第2号）

一般質問

市民クラブ 平野 義文 議員
新緑風会 松本 一郎 議員
市民クラブ 武田 貞行 議員
新緑風会 河合 清秀 議員

6月23日（第3号）

一般質問

公明党 猪口 満雅 議員
市民クラブ 坂井 秋子 議員
日本共産党議員団 山田 靖廣 議員
民優会 大和 勝 議員

6月24日（第4号）

一般質問

民優会 坂井 照美 議員
公明党 斉須 正友 議員
日本共産党議員団 上田 久司 議員

質問項目の詳細につきましては、発言通告書をご覧ください。



JR北海道苗穂工場移転誘致について



市民クラブ

平野 義文



【質】 JR北海道グループ中期経営計画²⁰²⁶等による移転検討の情報を受け、岩見沢誘致の考え方について

【答】（市長） JR北海道が2024年3月に公表した、2026年度までの3か年の中期経営計画において、計画期間終了後を見据えた事業構想として、苗穂工場のリニューアルに伴う開発が位置付けられている。

新工場の建設地としては、現在地での建替えのほか、JR沿線の適地に移転することが想定されており、岩見沢駅とその周辺についても有力な候補地になり得るものと考えている。

当市としても、昨年の計画公表を受け、市の担当者が同社を訪問しており、中期経営計画の詳細や候補地の選定に関することなどについて、情報収集を行っている。

JR北海道においては、あくまで2027年度以降に具体化する構想とされており、現時点で、特段の情報は聞いていないが、今後もコンタクトを継続していく。



共生社会における岩見沢市の戦略



新緑風会

松本 一郎



【質】 「健康ポイントアプリ」の拡充と活用について

【答】（市長） 健康ポイントアプリは、ウォーキングなど個人の活動にポイントを付与できるよう、昨年3月から導入している。昨年7月からは、団体活動もポイント対象となり、高齢者の要望を受けて紙カードの使用期限を1年延長するなど、市民のニーズに合わせた拡充や見直しを進めている。

ポイント設定の拡充については、健康づくり活動を楽しみながら継続していただくことが大切であり、限られた予算で事業を継続していくために、現時点ではポイント設定を変更する予定はないが、自身の健康づくりに主体的に取り組んでいただくために、引き続き様々な健康づくり施策に取り組む方針。

【質】 「認定高等職業訓練校」の今後の展開と「就労継続支援事業所」の支援について

【答】 「岩見沢地方高等職業訓練校」について、国の助成金を市独自に増額するなど、今後も受講者の確保に向け取り組んでいく方針。また、本職業訓練校は、技術力の向上を通じて地元企業の経営基盤などの強化を図る上でも重要な役割を担っているものと考えている。

就労支援の一つとして、市が率先して就労継続支援事業所から調達を行うとともに、民間企業との連携を図りながら、障がいのある人の就労機会の確保に努めたいと考えている。



市民クラブ

武田 貞行



米の消費者価格高騰と水田農業を取り巻く 現状と今後の農業政策について

質 令和9年からの新たな水田活用施策への考え方

答 〔市長〕国は、令和7年4月に策定した新たな食料・農業・農村基本計画において、水田や畑地に関わらず作物ごとの生産性向上等を支援することを示し、詳細は令和7年度中に固めることとしている。

水田地帯の本市において、水田で転作作物を生産することは、条件が不利な地帯と認識している。そのため、JAいわみざわ地域農業再生協議会にて、水田地帯に配慮した制度となるよう要望した。

本市としては、持続可能な水田農業の確立に向け、新制度の内容が明らかになり次第、必要に応じて関係機関と連携し、要請したいと考えている。

質 米の適正価格形成に向けた国への要請について

答 米の価格について、令和7年2月の備蓄米の放出以降も依然として高止まりが続いている。現状の価格が続けば消費者の米離れにつながる一方、再生産が難しい価格となれば生産者の米離れにもつながることが危惧されることから、消費者と生産者双方が納得できる価格となることが望ましいと考えている。

このような中、令和7年6月に、農産物の適正な価格形成に向けた関連法が成立し、国では令和8年4月の全面施行に向け、詳細を検討している。本市としても、実効性のある仕組みづくりとなるよう、必要に応じて国へ働きかけたいと考えている。



新緑風会

河合 清秀



岩見沢市病院事業について

質 工事請負契約について

答 〔市長〕病院本体の工事請負契約の締結は、工事費積算額や工事スケジュールの精査、施工予定者によるJV組成の調整が整い次第になるため、明確な時期までは答えられないが、早ければ令和7年8月中には契約締結に至るものと考えている。

新病院の整備に係る予算については、令和7年第1回定例会において、議会での審議を経て議決を得ている。

工事請負契約の締結については、病院事業が適用される地方公営企業法において、議会の議決は必要とされていないが、新病院の建設はこれまでにない大規模な事業費であることに加え、一般会計への影響も大きいことから、どのような場になるかは別にして、工事請負契約締結前には、議会に対して調整後の工事費積算額や工事スケジュールなどについて報告したいと考えている。

工事請負契約の締結に際して、市民説明会を開催する予定はないが、新病院の概要については、広報いわみざわ6月号で特集を組んで市民の皆様にお知らせしたところであり、今後においても、広報やホームページなどを通じて情報発信の機会を拡充し、丁寧で分かりやすい表現に努めるなど新病院に対する市民理解がより深まるよう取り組んでまいりたい。



公明党

猪口 満雅



市営住宅について

質 耐用年数の経過状況について

答 〔市長〕本市では、平成31年3月に策定した岩見沢市公営住宅等長寿命化計画に基づき、耐用年数を経過した建物は速やかに除却を行い、周辺の景観や防犯上の配慮に努めている。

長寿命化計画策定時における耐用年数を超えていた住戸は、134戸となっていたが、このうち121戸はこれまでに除却、あるいは所管替えによる用途変更を行っている。一方、令和元年以降、東町団地102戸を含む130戸が新たに耐用年数を迎えたことにより、令和7年3月末時点においては、管理戸数1千875戸のうち、耐用年数を超過した住戸は143戸となっている。

質 入居率について

答 用途廃止の準備のために募集を停止している団地の空き住戸を除いた入居率は令和7年3月末時点で77・4%と年々低下している。

質 入居条件などの緩和について

答 本市の公営住宅は、岩見沢市営住宅管理条例の中で、入居者の住宅困窮度や収入、同居親族の有無などの要件を定めている。

本市としては、引き続き、市営住宅の入居率改善に向けて、本来目的での利用促進に努めることはもちろん、長期間空き家となっている住戸の活用や、入居者資格要件について、北海道や他自治体の動向を注視しながら調査研究を進める。



市民クラブ

坂井 秋子



レジ袋の総量を抑え、プラスチックごみの削減につなげる取組について

質 他の自治体の先行事例に対する調査等の実施について

答 【市長】本市では、道内35市に対し調査した経緯があり、17市が指定ごみ袋のばら売りを実施。その内、買い物袋にも使用できるように、デザインを公募するなど、通常のごみ袋とはデザインを変えて販売している自治体が2市あった。

質 「指定ごみ袋」をばら売りし、レジ袋として活用することについて

答 平成27年度のごみ袋有料化の際に、いつでもばら売りを開始できるよう、袋1枚ごとに値札のバーコードを印刷している。しかし、今まで市民の皆さまや販売店からの要望が無いこともあり、ばら売りの実施には至っていない。

導入にあたっての課題としては、他市の調査では、在庫管理が煩雑になることや、陳列棚のスペースに限りがあるなどから、取り扱う販売店が少ないことや、特定の容量の袋のみばら売りに対応する店舗があるほか、さらに、閉店などの際に使用していないごみ袋を返還しており、ばらのごみ袋も返還の対象とすることなどうかの検討が必要となる。また、レジ袋として活用するためには、デザインの変更にも検討が必要となり、その際には新たな費用の発生が伴うことから、先進事例を参考に研究してまいりたい。



日本共産党議員団

山田 靖廣



クーリングシェルター・涼み処の拡充について

質 昨年の利用実績や開設日数について

答 【市長】クーリングシェルターとして、公共施設8施設と民間施設5施設の計13施設、熱中症特別警戒アラートだけでなく、一段下の熱中症警戒アラートが発表された場合であって、暑さ指数33・0以上が予想される場合にも開設する運用としていたが、昨年は熱中症警戒アラートが発表されず開設実績はなかった。一方で、気温や暑さ指数に関わらず常時利用できる涼み処として公共施設11施設と民間施設4施設の計15施設、民間施設を中心に多くの市民に利用された。

質 拡充の考え方や周知について

答 昨年は臨時に貸室などを開放するクーリングシェルターと、常設型の涼み処に分けて運用していたが、今年はこの二つを統合し、熱中症警戒アラートや暑さ指数に関わらず常設型のクーリングスポットとして運用することとした。幌向総合コミュニティセンターの一部の部屋にエアコンを整備するほか、北村学習交流館を加えるなど、公共施設13か所と民間施設5か所の計18か所を開設する。市役所本庁舎は利用日時を拡大し、7月1日から9月30日までの間、毎日午前8時から午後8時までエントランスホールを開放する。

市広報やホームページに掲載するほか、相当の暑さが見込まれる場合には、岩見沢市メールサービスやSNSを活用するなどして、熱中症に対する注意喚起を行うとともに、利用の周知を図っていく。



民優会

大和 勝



部活動の地域展開の取組と今後の方向性について

質 令和7年度の取組とゴールについて

答 【教育長】令和7年度においては、前年度に実証事業を行った軟式野球に加え、バドミントンが拠点化へ移行し、全部で9種目となるほか、男子バレーボールでは新たにクラブチームが設立されるなど、地域展開に進展が見られるところである。

また、地域展開が進む中で、生徒や保護者、地域住民など、活動への関わり方が多様化していくものと思われる。

今後は関係団体や地域の実情に応じた活動の支援・調整を行う事務局体制の構築も視野に入れ、必要な環境整備を段階的に進めていきたい。

質 財源確保のための今後の取組について

答 持続可能な仕組みとしていくためには、地域企業や団体、NPOなどの多様なステークホルダーによる協力や支援が重要である。令和6年度に芸術文化・スポーツ環境推進協議会を設置し、関係団体と連携しながら財源確保や支援体制の在り方について協議を進めている。

今後も引き続き、協議会を通じて具体的な連携方法や支援スキームの構築を図りたい。





民優会

坂井 照美



市立総合病院の看護職員確保 及び勤務環境について

【質】 奨学金償還免除後の退職者の割合や傾向について

【答】 【市長】 令和6年度における市立総合病院の看護師の採用者は38名、退職者は30名となっており、学生時代に修学資金の貸与を受け、償還免除となる期間を経過したのち退職した職員は、2割の6名である。

その内訳を償還免除期間終了後の在職年数別にする、期間終了と同時に退職した者が2名、2年以内に退職した者が3名、4年以内に退職した者が1名となっており、退職の理由は、結婚や転居によるものである。

【質】 働きやすい環境づくりについて

【答】 職員の意識やライフプランに応じた職場環境を提供できるよう、研修の受講を希望する職員に対しては、積極的に派遣するとともに、男女を問わず、育児休業の取得も推進するなど、ワークライフバランスの推進に努めている。

さらに、多職種連携推進委員会を院内に設置し、多職種間のタスクシフトや業務改善に取り組み、業務の効率化や軽減策の検討・導入を進めている。特に、看護部では、毎年、業務量や職員満足度に係る調査を行い、職員の状況や課題の把握に努め、業務改善につなげている。その1つとして、申し送り時間の短縮にも取り組み、シフト勤務の重なる時間内で終えるよう改善してきたところである。



公明党

斉須 正友



ごみ処理について

【質】 不適正排出の件数と回収量について

【答】 【市長】 直近3年間の不適正排出の件数と回収量の実績は、令和4年度は、不適正排出ステッカーの貼付枚数が5万3千406枚、回収量が9万7千830キログラム、令和5年度は4万7千948枚、8万4千720キログラム、令和6年度は4万5千325枚、8万180キログラム。貼付枚数及び回収量とも減少し、改善が図られている。

【質】 開封調査と訪問指導の実施状況について

【答】 直近3年間の開封調査及び訪問指導の実績は、令和4年度は開封調査箇所が83か所、訪問指導件数が38件、令和5年度が72か所、127件、令和6年度が100か所65件となっている。

【質】 ごみ排出の原単位の傾向と減量対策について

【答】 原単位については、令和3年度から減少に転じ、令和6年度は485グラムと前年度に比べ13グラム減少しているが、有料化後の平成27年度の数値453グラムを上回っている。

ごみ減量化については、コロナ禍以降、大型ごみの排出量が増加し、生ごみが全体の約40%を占めているため、これらの減量化と資源化に重点的に取り組んでいる。大型ごみでは、企業と連携し宅配を活用した家電の回収等を実施。生ごみでは、必要とする団体に寄付をするフードドライブ事業等に取り組んでいる。今後も更なる連携先の拡充や市民と協力して、ごみの減量化及び資源化を進めたい。



日本共産党議員団

上田 久司



学校給食について

【質】 学校給食費の値上げにおける、市民への周知方法や実行時期について

【答】 【教育長】 令和7年7月に学校給食費を改定する旨、教育委員会の会議に議案を提出する予定。改定決定後は、速やかに保護者の皆様にお知らせし、ホームページ等を通じて市民の皆様にも周知を行う。また、今年度の給食費については、市が補填した上で現行単価に据え置き、来年度以降に向けては、国の動向を注視し、市長部局と連携を図りながら、適切な保護者負担について検討を進める。

【質】 学校給食費の無償化について

【答】 現在、国では学校給食無償化の検討を進めており、今後の動向を注視している。

本市の学校給食費の費用負担については、あくまで学校給食法に基づき、適正な食材購入費を保護者に負担いただくことが基本と考えているため、国に先行して無償化の取組を進める考えはない。

【質】 有機給食の取組について

【答】 本市では、子供たちに安全安心な給食を提供するため、化学肥料や農薬の使用を抑えた、岩見沢産なつばしや栗沢町のヤーコンを使用している。

有機農産物の使用については、アレルギースクの軽減に効果があるとも言われているが、その一方で価格が高い、供給量が安定しないという課題もあることから、慎重に検討する必要があると考えている。

令和 7 年第 2 回臨時会（5 月 16 日）審議結果

○議長・副議長の辞職・選挙や常任委員会の委員の選任などについて審議

議案番号	件名	審議結果
選任第 1 号	常任委員会委員の選任	選任
選任第 2 号	議会運営委員会委員の選任	//
選任第 3 号	新病院建設特別委員会委員の選任	//
選任第 4 号	総合戦略特別委員会委員の選任	//
辞職第 1 号	議長の辞職	許可 (峯 泰教)
選挙第 1 号	議長の選挙	当選 (峯 泰教)
辞職第 2 号	副議長の辞職	許可 (野尻 清)
選挙第 2 号	副議長の選任	当選 (豊岡 義博)
選挙第 3 号	桂沢水道企業団議会議員の補欠の選挙	// (河合 清秀 日向 清一 平野 義文 宮下 透)
選挙第 4 号	空知教育センター組合議会議員の補欠の選挙	// (木村 光宏)
選挙第 5 号	岩見沢地区消防事務組合議会議員の補欠の選挙	// (坂井 秋子 武田 貞行 宮下 透 大和 勝)
選挙第 6 号	南空知ふるさと市町村圏組合議会議員の補欠の選挙	// (峯 泰教)
報告第 1 号	専決処分した事件の承認について（岩見沢市税条例の一部改正）	承認
議案第 43 号	監査委員の選任について	同意 (日向 清一)

令和 7 年第 2 回定例会（6 月 16 日 ▶ 6 月 27 日）審議結果

議案番号	件名	審議結果
議案第 44 号	岩見沢市恩給条例の一部を改正する条例の一部改正について	原案可決
議案第 45 号	財産の取得について	//
議案第 46 号	令和 7 年度岩見沢市一般会計補正予算について(第 1 号)	//
議案第 47 号	監査委員の選任について【篠原 藤雄】	同意
諮問第 1 号	人権擁護委員の候補者の推薦について【野崎 政義】	//
諮問第 2 号	人権擁護委員の候補者の推薦について【小山 祐子】	//
諮問第 3 号	人権擁護委員の候補者の推薦について【渡部 久美子】	//
諮問第 4 号	人権擁護委員の候補者の推薦について【岡田 裕明】	//
諮問第 5 号	人権擁護委員の候補者の推薦について【山口 あけみ】	//
意見書第 5 号	国内農業を犠牲としない日米関税交渉などを求めることについて	原案可決
意見書第 6 号	ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化について	//
意見書第 7 号	児童生徒の個別最適な教育環境を整備する教育予算確保・拡充について	//
意見書第 8 号	地方財政の充実・強化について	//
意見書第 9 号	道教委「これからの高校づくりに関する指針」（改定版）を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育について	//
決議案第 2 号	総合戦略特別委員会の設置に関する決議の一部変更について	//

第2回定例会まで提出された次の陳情・要望書は全議員に写しが配付されました。

- 国内農業を犠牲としない日米関税交渉などを求める意見書について
- 適格請求書等保存方式（インボイス制度）の廃止等を求める意見書採択について
- 日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書について

市議会を傍聴してみませんか？



定例会や委員会では、私たちの生活に関わる大切なことを審議しています。ぜひ、一緒に考えてみませんか？傍聴をご希望の方は、開催日当日、市役所4階までお越しください。



傍聴のご案内ポスターです！



／ 本会議をライブ中継しています！ ／

※岩見沢市議会では、本会議の様子をインターネット配信（岩見沢市議会 YouTube チャンネル）しております。ぜひご覧ください。

※公式 youtube はこちら！



FM はまなすへ出演いたしました。



令和7年第3回定例会

9月

開会予定です。



6月18日（水）、広報広聴委員会の活動として、FM はまなすさんに出演させていただきました。

第2回定例会と傍聴についてのご案内。そして、メンバーが新しくなった広報広聴委員会の今年度の活動についてご紹介させていただきました。



所管事務調査が行われました！

所管事務調査とは？

毎年5～6月に各常任委員会では、事務調査として、各常任委員会が所管する担当部署より、それぞれの役割、本年度の取組等について説明を受け、質疑応答を行います。終了後、施設等の「現地調査」を実施。実際に訪問することで、目で見て、話を聞き、各委員が感じ取ったものを今後の委員会活動に役立てております。

【当日の流れ】

事務調査・・・午前10時より2時間程度
(総務常任委員会は、午前9時30分開始)

現地調査・・・事務調査終了後、2～3時間程度

※現地調査場所や時間は、年度ごとに異なります。

総務常任委員会

＜所管各部署＞

・総務部 ・会計室 ・選挙管理委員会
事務局 ・監査委員事務局
・企画財政部 ・教育委員会



《岩見沢市立学校給食
共同調理所》



《岩見沢市新産業支援センター》

昭和41年に開設。昭和55年に東町に移転。その後、平成29年に現在地（緑が丘5丁目）に新築移転。
一日最大7,000食の調理が可能な施設。出来上がった給食は10台の配送車で各学校へと届けられています。

新規事業の展開を目指す企業に対する支援や企業家の育成等を通じた新産業の創出を目的に、ICTや、新技術を活用した既存事業の高度化、新たなビジネスモデルによる事業展開等を支援するための先進的機能を備えています。

民生常任委員会

＜所管各部署＞

・市立総合病院、市立栗沢病院
・健康福祉部 ・市民環境部



《社会福祉法人光が丘学園》

児童養護施設として昭和38年に設置認可。また、児童家庭センター光が丘子ども家庭支援センターも併設しています。

《社会福祉法人幌向保育会
ほろむい認定こども園
とことん》

昭和53年設置認可。令和2年に保育所型認定こども園に移行。ほろむい認定こども園ととことんに改築・改名しました。



経済建設常任委員会

＜所管各部署＞

・農政部 ・農業委員会
事務局 ・経済部
・建設部 ・水道部



《桂沢浄水場》

令和3年3月に道内で最大級の膜ろ過浄水場が完成。岩見沢市、美瑛市の一部、三笠市に水を供給しています。

《ヴィンヤード・モウ》

栗沢町茂世丑の「(株)こことある」が運営するヴィンヤード。
約1万2千本のワインを製造しています。(令和6年度)



《であえーる岩見沢》

中心市街地活性化を目的に元商業ビルを市が取得し、平成24年4月に市民交流施設「であえーる岩見沢」として再生しました。

議員会研修会を行いました

質問力を高める政策議会の一般質問

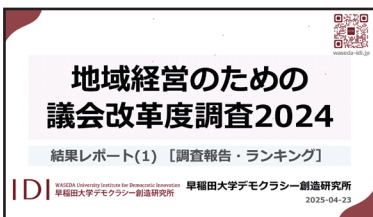


3月28日（金）法政大学法学部教授土山希美枝様を講師にお招きし、議員個々の質問力を高めることを目的とし、全議員を対象とした研修会を開催いたしました。前半90分は、「政策議会としての議会」、「一般質問

を機能させるために」など全6項目に沿った講演。後半60分は、代表者2名が過去に行った一般質問を題材に、グループディスカッションを行いました。「○○といった聞き方だと伝わりやすかったのでは？」など様々な意見が。講師を招いての研修、また、議員同士でのグループワークを通し、改めて考える機会、そして、議員間での活発な意見交換がなされたことで、大変有意義な時間となりました。

地域経営のための議会改革度調査 2024

岩見沢市議会 初ランクイン！



4月に早稲田大学デモクラシー創造研究所様の実施する「地域経営のための議会改革度調査2024」におきまして、全国1788議会中、第261位、道内市議会では第2位という高い評価をいただきました。「政策力の強化」「主権者の参画」「議会機能の強化」の3部門の合計によるもので、順位の発表は上位300位までとなっています。ランキング向上が目的の議会改革ではありませんが、市民の皆さんのお役に立てる議会となれますよう評価結果を分析、共有し取り組んでまいります。

pick up

政務活動費収支
報告書を掲載
しました！

令和6年度の政務活動費について、会派ごとの収支報告書を市議会ホームページに掲載しております。また、市役所本庁、有明交流プラザ、北村支所、栗沢支所の情報公開コーナーでも閲覧いただけます。



議会日誌

- 4月 4日 ・ 広報広聴委員会
- 10日 ・ 各派代表者会議
- 17日 ・ 各派交渉会
- 5月 7日 ・ 各派交渉会
- 16日 ・ 議会運営委員会 ・ 第2回臨時会
- 28日 ・ 広報広聴委員会
- 29日 ・ 総務常任委員会
- 6月 3日 ・ 民生常任委員会
- 4日 ・ 経済建設常任委員会
- 13日 ・ 議会運営委員会
- 16日 ・ 各派代表者会議 ・ 第2回定例会（第1号）
- ・ 正副委員長会議 ・ 議員会役員会
- ・ 林活議連役員会 ・ 広報広聴委員会
- 20日 ・ 第2回定例会（第2号）
- 23日 ・ 第2回定例会（第3号）
- 24日 ・ 第2回定例会（第4号）
- 25日 ・ 総務常任委員会 ・ 民生常任委員会
- ・ 経済建設常任委員会
- 27日 ・ 議会運営委員会 ・ 第2回定例会（第5号）
- ・ 議員会役員会 ・ 林活議連役員会
- ・ 広報広聴委員会

全国市議会議長会表彰



令和7年5月20日に開催されました、「第101回全国市議会議長会定期総会」において、副議長4年以上の功績として野尻清前副議長、議員歴10年以上の功績として宮下透議員が議員表彰を受けられました。

政務活動費とは？

調査研究、その他の活動に資するため必要な経費の一部として地方自治法及び条例に基づき、会派に交付されます。

編集後記

5月より早いもので任期の後半がスタートいたしました。各委員会では新しく委員が選任されました。広報広聴委員会では、引き続き「議会活動の発信」、「市民の声を聴く」という役割をしっかりと果たし、さらには、市議会を少しでも身近に感じていただき、市民の皆様と市議会をつないでいけるよう委員一同、努力を重ねて参ります。

（坂井 秋子）

議会広報広聴委員会

- <委員長> 坂井 秋子
- <副委員長> 松本 一郎
- <委員> 新井 優也
- 木村 光宏
- 野尻 清
- 河合 清秀
- 坂井 照美
- 猪口 満雅
- 山田 靖廣



メンバーが新しくなりました。
2年間しっかり取り組んでまいります。